

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	はりきゆう実技6	実技	1	30	全科目が該当します。
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 2年生	伊藤栞里・久保田明美 森井健司・川口拳・竹村千冬	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	鍼灸施術所での実務経験あり。その実務の性質上、臨床の場面での疾患鑑別には、当該科目で学ぶ知識は不可欠なものとなる。		
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>これまで履修した内容を総合的に復習・反復練習を行い、知識と技術の連結と定着を図る。 これにより3年次の臨床系の座学ならびに実技科目に対する準備を進めていく。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>当科目では、解剖学1にて学んだ骨や筋の走行、経絡経穴概論1の取穴部位などの復習を行うことをお勧めします。 知識として頭に入れたことを、実技の体験を通してさらに確かな知識にし、それをまた教科書などで復習するということを繰り返しましょう。</p>					
教科書・参考書					
教科書:東洋療法学校協会「新版 経絡経穴概論」、「解剖学」					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】 別紙「受講時の心得」に準じる。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	教員の身体へ糸状灸および手指での押圧操作等の手さばきを、教員の求める刺激量で行う。 学生の身体に対して、特殊鍼法などの手技を安全に行う。			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1	12/18	鍼灸応用練習		/	専任
2	1/9	鍼灸応用練習		/	専任
3	1/22	鍼灸応用練習		/	専任
4	1/29	鍼灸応用練習		/	専任
5	2/5	鍼灸応用練習		/	専任
6	1/8	鍼灸応用練習		/	専任
7	1/16	鍼灸応用練習		/	専任
8	1/23	鍼灸応用練習		/	専任
9	1/30	鍼灸応用練習		/	専任
10	2/6	鍼灸応用練習		/	専任

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11	1/7	鍼灸応用練習		/	専任
12	1/14	鍼灸応用練習		/	専任
13	1/21	鍼灸応用練習		/	専任
14	1/28	鍼灸応用練習		/	専任
15	2/4	鍼灸応用練習		/	専任
16				/	
17				/	
18				/	
19				/	
20				/	